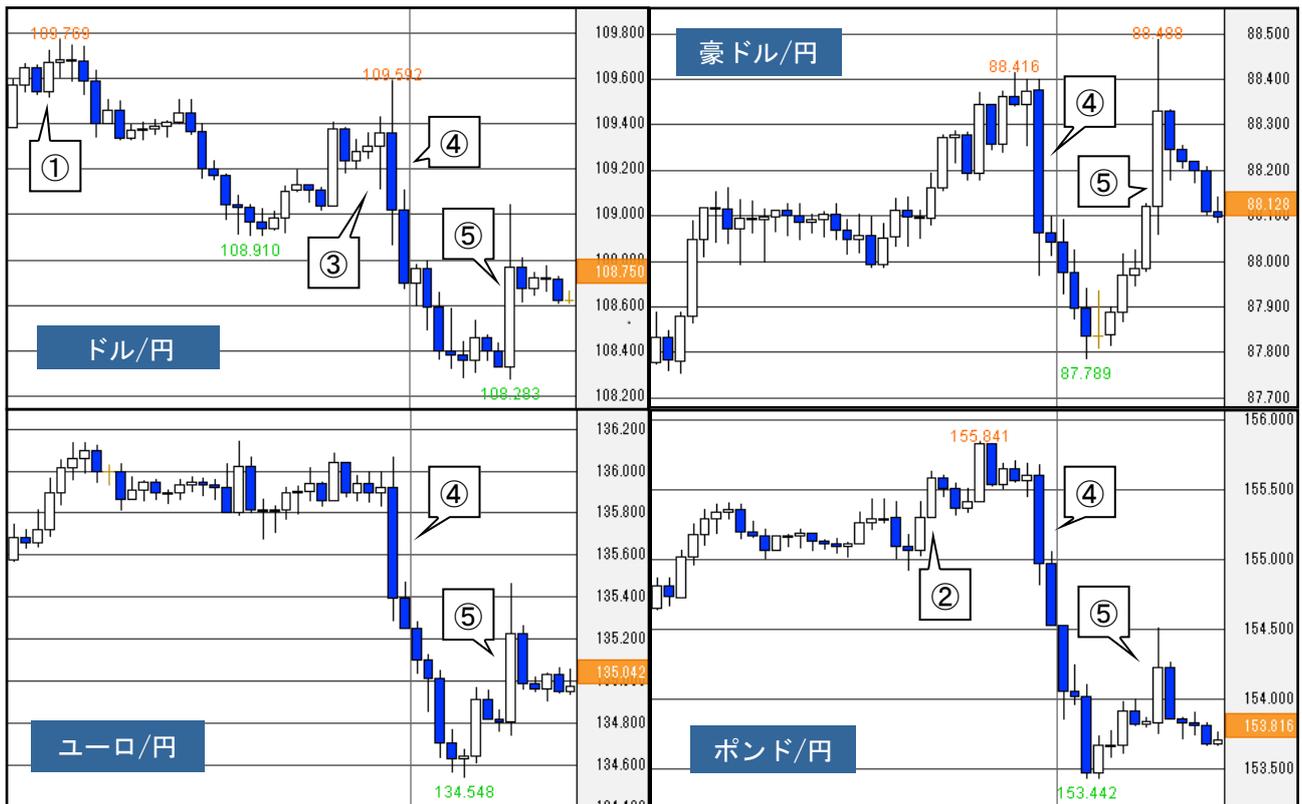


1月29日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

要人発言に振り回される展開

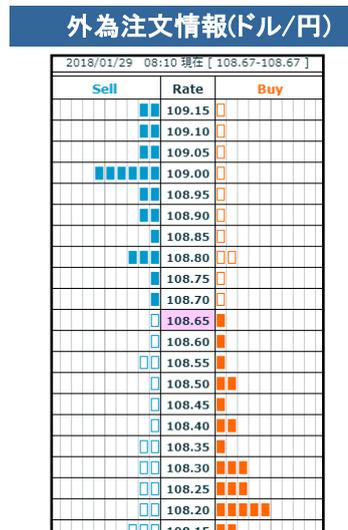
26日(金)の為替相場



期間：26日(金)午前7時10分～27日(土)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 日本の12月消費者物価は値動きの激しい生鮮食品を除いたコア指数で前年比+0.9%と市場予想と一致。一方、生鮮食品とエネルギーを除いたコアコア指数は前年比+0.3%にとどまった(予想+0.4%)。
- ② 英10-12月期国内総生産(GDP)・速報値は前期比+0.5%、前年比+1.5%と市場予想(+0.4%、+1.4%)を上回った。ただ、前年比の伸び率は前期(+1.7%)から減速して2013年1-3月期以来の低さとなった。
- ③ 注目されたトランプ米大統領の演説は無難に通過した。なお、大統領は「米国はみなが成長できる将来を望む」「今が仕事や投資を米国に持ってくる最適な時期」「常に米国第一を重視するが、米国第一は米国の孤立を意味しない」などと述べた。また、直後に発表された米10-12月GDP・速報値は前期比年率+2.6%と市場予想(+3.0)を下回った。ただ、GDPの3分の2以上を占める個人消費が前期比年率+3.8%と大幅に伸びた事などから、ネガティブな反応は見られなかった。
- ④ ムニューシン米財務長官は「コメントはドルを動かそうと意図したものではない」「(コメントの内容は)公平に述べたもの」「強いドルは米国にとって最大の国益」などと述べて、24日の発言にドル安誘導の意図がなかった事を表明。続いて黒田総裁が「2%のインフレ目標ないし物価安定目標の達成を非常に難しく、かつ時間のかかるものにした要因は数多くあるが、ようやく目標に近い状況にあると思う」と述べた。黒田総裁の発言を受けて日銀の金融政策正常化観測が再燃する格好となり、円買いが強まった。
- ⑤ 「黒田総裁はインフレ見通しを修正したわけではない」とする日銀筋の発言が伝わると円買いの反動から円売りが強まる場面があった。

26日(金)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
23631.88 ▼37.61	休場	3558.129 △9.822	7665.54 △49.70	13340.17 △41.81
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
26616.71 △223.92	0.0780% ▼0.0070	休場	1.444% △0.032	0.629% △0.018
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.1163% △0.0321	2.6599% △0.0430	66.14 △0.63	1357.20 ▼10.80	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	107.900-109.400	134.200-135.800	87.500-88.800	153.000-154.700

【ドル/円】

26日のドル/円は要人発言に振り回される展開が続き、一時108円台前半まで下落した。ムニューシン米財務長官が「強いドルは最大の国益」などと発言するとドルが買われる場面もあったが、黒田日銀総裁が2%の物価目標に「ようやく近付いてきた」と述べた事で日銀の金融政策正常化観測が再燃すると円買いが活発化した。黒田日銀総裁の発言については、前後の文脈から見ても出口戦略を連想させる内容とは到底思えない。市場が過剰に反応したと言うしかないが、それは同時に市場の円高に賭ける意気込みとも言えるのかもしれない。こうした中、本日は週足の一目均衡表の雲下限(109.097円)がチャート上のポイントとなりそうだ。この水準が上値抵抗と化すようなら108円割れを試す動きに繋がりがやすくなるだろう。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
1/29(月)	19:45		(ユーロ圏) ラウテンシュレーガーECB理事、講演	—	—
	22:30		(米) 12月個人所得(前月比)	+0.3%	+0.3%
	22:30	○	(米) 12月個人消費支出(PCE、前月比)	+0.6%	+0.4%
	22:30		(米) 12月コアPCEデフレーター(前月比)	+0.1%	+0.2%
	22:30	○	(米) 12月コアPCEデフレーター(前年比)	+1.5%	+1.5%
	25:00		(ユーロ圏) クーレECB理事、講演	—	—
	—		NAFTA再交渉第6回会合(最終日)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。
Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com